

- 自律** 目標に向かって自分自身を律する
感謝 思いやりや感謝の気持ちをもつ
貢献 地域社会に貢献する態度を養う
創造 持続可能な社会の創造に挑戦する

啐啄同時

2022.6.17 第 11 号



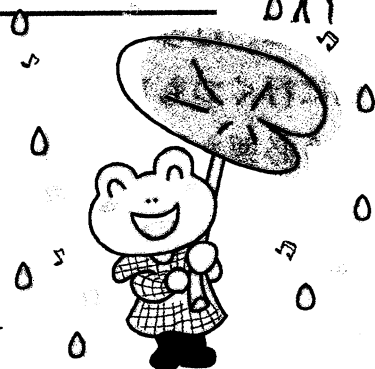
11日に梅雨入りしました。雨の続く梅雨はあまり歓迎されないものですが、これもまた日本の季節感としては大切な時期です。日本は四季の季節がある貴重な国です。言葉にも季節を感じる表現が数多くあり、それが日本人の感性を培っています。その時々季節に気付くこと、時代を越えて生きる滋味（じみ）豊かな言葉が暮らしをあざやかに彩ってくれます。

人間の成長には、勉強や運動だけでなく、絵を見たり、音楽に感動したり、自分の感覚や感性を大事にし、また、その感覚を磨く努力も必要です。「感性」を基盤として「情操」が育っていきます。これは、本能で生きる動物と違い、人間にだけ与えられた高度な能力です。

「感性」とは / 心に価値や心情を感じ取る力

「情操」とは / よいものに感動し、それを大切な価値として求め続ける豊かな感情の働き

高城中学校の生徒には、ぜひ感性も磨いてほしいと願っています。



期末テスト迫る

知ってますか？2週間後は期末テストです。

1年生は2回目のテストになりますので、今回のテストは勉強の仕方もイメージがつくのではないのでしょうか。2, 3年生も中総体で頭が一杯だったでしょうが、あと2週間でしっかり準備をしましょう。**小学校、中学校の勉強は学びの基礎・基本となるものです。専門的な学びに向かうために必要と考えてしっかり取り組みましょう。**



Kさんは、革財布の一人前の職人を目指して修業中です。

革財布が大好きでこの道に入りましたが、もともと手先が器用ではありませんでした。

1つの技術を身に付けるのに時間がかかります。同期の仲間は、どんどん先の工程に進んでいきました。「自分には向いていないかもしれない」

悩んでいたある日、大ベテランのYさんが励ましてくれました。

「俺なんかよりも器用だった同期は、みんな途中で辞めてしまったよ。なぜだと思う？彼らは、最初から何でも簡単にできるから、基本を軽くみてしまう。それが結果的に慢心につながるんだよ。だから、そのあとの難しい工程になると、なかなか先に進むことができない。基本ができていないから、行き詰まってしまったんだな。今は不器用でもいいから、じっくり基本を身に付けることだ」

そう励まされたKさんは、あせらずこつこつと、目の前の仕事を確実にこなすことを心がけて、日々頑張っています。

(月間朝礼)